

歴史資料

愛知県における幼児教育の振興に寄与したフランセス・B・ホーキンス—愛知県表彰を記念したラジオ番組「あたたかき愛の物語」について—

青山佳代

はじめに

戦間期から戦後15年の約40年間にわたって、愛知県の幼児教育の振興に寄与した人物がいる。フランセス・B・ホーキンス (Frances Belle Hawkins, 1891-1978, 以下ホーキンス) である。彼女は、カナダ聖公会婦人補助会から日本に派遣され、1924(大正13)年には柳城保姆養成所の教員に、そして1928年には同附属幼稚園の園長となった。途中、戦争のために母国カナダへ引き揚げることを余儀なくされた。しかし戦後、再来日し、幼児教育に尽力しながら、かつ保育者養成機関の経営にもその手腕を発揮させ、柳城保姆養成所を柳城女子短期大学保育科へと昇格させた。1953年に同短期大学の初代学長に就任した。

このようなホーキンスの活動は、愛知県における幼児教育の振興に寄与したと評され、1960年2月23日、彼女は愛知県表彰条例による第11回表彰者(教育功労者)となった。この時、ホーキンスは外国人として3人目の表彰者であった。この表彰を記念して、1960(昭和35)年5月6日にNHKラジオ第1放送でホーキンスの生涯に関する特別番組が放送された。そこでこの放送に関する「台本」と「音源(オープンリール)」は、学校法人柳城学院の歴史資料室に保管されている。このたび、科研の助成を受けて、音源の電子化に成功した。本稿では、この特別番組の台本と実際に放送された音源(オープンリール)のテープ起こししたものを記述し、ホーキンスの人となりについて紹介する。

「NHK 婦人の時間～あたくし愛の物語り～」

(1) 番組の概要

「婦人の時間～あたくし愛の物語り～」は、1960年5月6日(金)の午後1時05分から午後1時29分にかけてラジオ放送された特別番組である。通常は、この時間帯は婦人学級が放送されているが、この日は「婦人の時間～あたくし愛の物語り～」の後に「婦人学級」が放送された。

この「婦人の時間～あたくし愛の物語り～」録音構成という手法で製作された。現在でいう「ドキュメンタリー」にあたる。同番組の構成は当時NHKのプロデューサーであった山田万亀、企画は佐々基子、担当佐藤薫であった。

どのような経緯でこの番組が企画されたかについての資料は、これまでのところ発見できてはいない。しかしながら、柳城女子短期大学の「昭和35年度 日誌」には以下のような記録が残っている。同番組に関する項目のみ抜粋した。

4月30日(土)雨	来訪者	山田万亀氏(N.H.K)
5月3日(火)快晴	憲法発布記念日	午後N.H.K.より録音に来校(於体育館)
5月5日(金)晴れのち雨	◎N.H.K 婦人の時間	・・・ホーキンス先生の放送あり
6月2日(木)雨	N.H.K	へテープをとゞける(録音を入れてもらうため)
6月3日(金)晴	N.H.K	へテープを受取りにゆく
6月4日(土)	(天気の記事なし)	発信 ポーマン先生(録音テープを送る)

4月30日よりも前にNHKとの打ち合わせの記録は学校日誌から読み取ることはできなかった。もし、4月30日に初めての打ち合わせをし、1週間もたたないうちに本番の収録を迎え、さらに2日間で放送の編集をしたと考えるのであれば、ずいぶん短期間で企画・収録がなされたことになる。

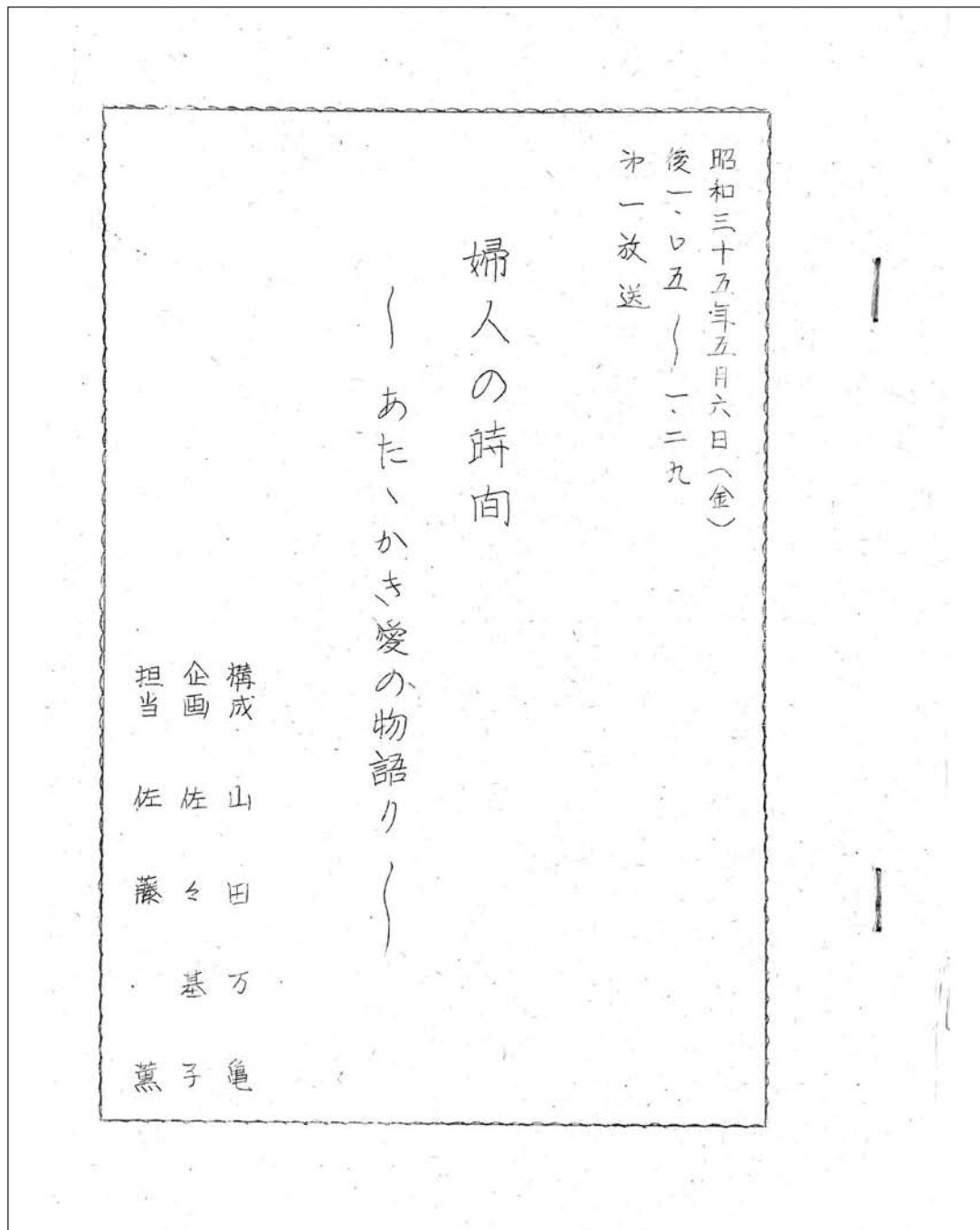


図1) 「婦人の時間～あたゝかき愛の物語り～」台本の表紙

第1 JOCK		NHK		JOCK 第2		
730				910		
<p>図はニュース</p> <p>0 図◇図◇15村の広場「私たちの話壇」◇30ラジオ体操</p> <p>40 イギリス人の知恵◇50音楽</p>			<p>図は天気予報</p> <p>0 基礎英語講座◇15英語会話</p> <p>30 農業「益害はひきあうか」</p> <p>45 NHK教養大学「経済成長の経済学・有効需要」木村名演奏家＝スメタナ弦楽四重奏団、ドボルザーク「弦楽四重奏曲・アメリカ」スメタナ「弦楽四重奏曲二番」</p>			<p>6</p> <p>7</p> <p>8</p> <p>9</p> <p>10</p> <p>11</p> <p>0</p> <p>1</p> <p>2</p>
<p>0 図◇図◇15東海の皆さんへ</p> <p>32 きょうのNHK◇37メモ</p> <p>40 小説「どこかで、なにかが」</p> <p>45 朝の訪問＝船井正夫</p>			<p>0 寝袋通信＝朗読・曾根正陽</p> <p>15 ラジオ体操＝紅林武男</p> <p>30 私たちの音楽＝シューベルト「ミニヨンの歌」ほか</p>			
<p>0 図◇5名曲＝歌のアルバム「アデライーデ」ほか◇29図</p> <p>30 朝の口笛「夫婦天気図」宮田</p> <p>45 うたのおぼさん＝松田◇図</p>			<p>0 気象通報◇15国語教室二年</p> <p>30 音楽教室五年生「五月」ほか</p> <p>45 中学校「大和の朝廷」坂本ら</p>			
<p>0 図◇5主婦①中華風のお菓子②メロディー③献立◇図</p> <p>35 膚と化粧品◇50美容体操</p>			<p>0 気象通報◇15国語教室二年</p> <p>30 音楽教室五年生「五月」ほか</p> <p>45 中学校「大和の朝廷」坂本ら</p>			
<p>0 図株◇5うたいまじょう</p> <p>20 お仕事のあいまいに◇34図</p> <p>35 メロディー◇ちょっと耳を</p>			<p>0 社会科六年◇15小学低学年</p> <p>30 中学年「お母さん」阿部阪ら</p> <p>45 中学校「ミツバチ」川久保保</p>			
<p>0 図◇5けさの話壇＝飯島保</p> <p>15 私の本棚「マナスル登壇記」</p> <p>30 図◇31くらし◇45株式◇図</p>			<p>0 社会科四年◇15小学高学年</p> <p>30 中学校「中学生らしく」坂本</p> <p>45 高校「源氏物語」阿部秋生</p>			
<p>0 図◇図◇15ひるのいこい</p> <p>30 浪曲「嵐小仙冥間」春日清曲師・森初江</p>			<p>0 体操◇10ひる休みのおくりもの◇25学校ニュース</p> <p>35 株式◇50商品◇55海外市況</p>			
<p>0 図◇5婦人「暖かき愛の物語」坂東喜久ら◇29図</p> <p>30 学級「自由の保障」英濃部</p>			<p>0 中学校「世界の動き」荒井ら</p> <p>25 邦楽演奏会＝新作曲「奈良の四季」、「日本の唱歌集」他</p>			
<p>0 図株◇5倶楽部①ハイキン</p>						

図2) ラテ欄(「中部日本新聞」昭和35年5月5日号)にはこのように掲載されていた。午後1時05分のところに、婦人「暖かき愛の物語」坂東喜久ら、と記載されている。

(2) 番組の実際

では、この番組の内容を、台本を参考にして、さらにテープ起こししたものを加筆して解説を試みる。ちなみに、台本は当日の流れが書いてあるだけである。ホーキンスや坂東、松原の回答は、放送(=テープ起こし)によってのみ知ることができる。当日のラジオ放送は、オープンリールに

録音されており、それをこのたび（2021年10月）業者に依頼して電子化したものである。音声は非常に明瞭に聞き取ることができる。



図3) 番組が録音されたオープンリール（表面）

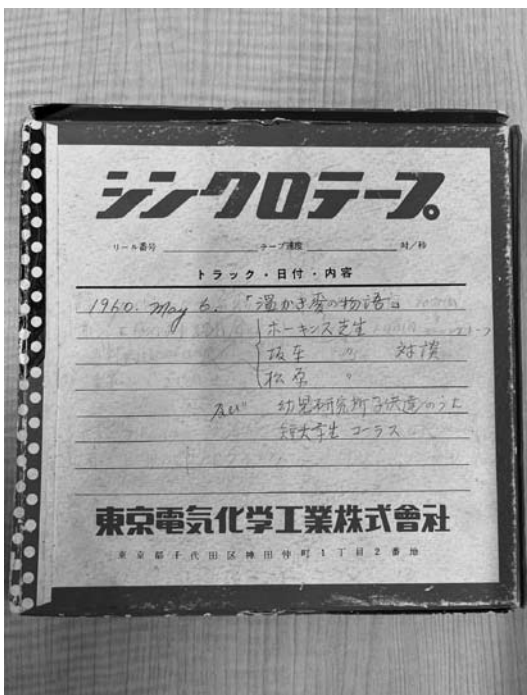


図4) オープンリール（裏面）[1960 May 6. 「温かき愛の物語」ホーキンス先生、坂東先生、松原先生対談 及び 幼児研究所子供達のうた 短大学生コーラス]との記述がある。

この番組の出演者は以下の通りである。

- 話し手：フランシス・ビー・ホーキンス（以下、ホーキンス）、坂東きく（以下、坂東）、松原しも（以下、松原）
- 挿入曲 「鯉のぼり」「赤い色なアに」「いのり」「小人の行進曲」「聖歌 320 番」「花も鳥も目がさめて」「たんぼぼ」「なんでも食べる子」全8曲（柳城女子短期大学音楽部／柳城幼稚園の園児）*なお、台本には、「柳城短大研究所園児」「柳城短大研究学生」との表記もあり、表記に揺らぎがある。オープンリールの脚注には、幼児研究所子供達の歌、短大学生コーラスとある。また、この挿入曲がどのように収録されたかについては、今のところ明らかにできていない。
- 聞き手：生越（おごし）アナウンサー（以下、生越）
- 語り手：野際陽子（のちに日本を代表する俳優となる。収録当時はNHK名古屋局のアナウンサーであった。以下、野際）

以下に台本を参考をベースにして、さらにテープ起こししたものを列挙していく。なお、台本は縦書きであるが、本稿においては紙幅の関係から横書きにて記すこととする。

野際) 婦人の時間でございます。

TM in ~ DN ~ BG (*以下にアルファベットで示される文字は音楽(M)をどのようなタイミ
ングで挿入するかを目印である)

野際) みなさんお元気ですか。昨日5日はこどもの日はいかがお過ごしでいらっしゃいましたか。
今日をはじめに名古屋から山田万亀構成「あたゝかき愛の物語」
名古屋の保育事業に尽くされたフランシス・ビー・ホーキンスさんの話と柳城幼稚園の子ど
もたちの歌をお送りし、その後いつものようにNHK婦人学級がございます。

TM UP ~ DN ~ FO

野際) 風薫る5月

M F1 ~ (鯉のぼり) ~ DN ~ BG

(柳城短大研究所児童合唱)

鯉のぼり えほん唱歌

屋根より高い 鯉のぼり
大きいまごいは おとうさま
小さいひごいは こどもたち
おもしろそうに 泳いでる
(繰返し)

野際) みずみずしい若葉の色は さんさんと降り注ぐ太陽を浴びて 日増に青味を深めていきま
す。
その下で小さな口をいっぱいひろげて 鯉のぼりのうたをうたう子供たち
柳城短期大学附属幼稚園の可愛い幼児たちの合唱です。

M UP ~ OUT

野際) 幼ない子等に交って、ひとり、長身の外国婦人が、美しい銀髪を5月の風にそよがせて楽し
げに「鯉のぼり」をうたっています。柳城女子短期大学学長であり、幼稚園園長であるフラ
ンセス・ビー・ホーキンスさんです。

台本にあらかじめ書かれていたインタビューの内容(ホーキンス氏)

- 今年2月、愛知県教育功労賞を受賞されましたそうで、おめでとうございます(生まれはカ
ナダであるのに日本に渡って40余年間、日本の子どものため、特に幼児教育に力を注いだ功績
が受賞の対象でした)
- 日本へ来られたのはいつですか。
- どこからいらっしゃいましたか。

生越) ホーキンスさんが愛知県の教育功労者でございますかね。あれをお受けになったのは。

ホーキンス) 2月でございました。

生越) 最初の通知をお受けになった時は、いかがお感じでしたか？

ホーキンス) そうですね。びっくりしました。実は船の中で、日曜日の晩の食事の時でした。そして、友だちからレディオグラムが来ました。うちの人が病気になったかしらんと思って、それを開きました。その通知を受けました。

生越) あー、電報で来たんですね。ホーキンスさんが日本にいらしたのはいつ頃でございますか。

ホーキンス) 1920年でした。

生越) 1920年、今からちょうど40年前ですね。おいくつのおときですか？

ホーキンス) 28歳。

生越) そうすると、ホーキンスさん、学校をお出になってすぐですか？

ホーキンス) そうですね。神学校。学校を出てから神学校へ。2年間神学校にしまして、それから来ました。

生越) 神学校はどちらでございますか。

ホーキンス) トロント

生越) トロント・・・、カナダですね。

ホーキンス) はい、そうです。

生越) お生まれはどちらですか？

ホーキンス) 生まれましたのは、少し北の方の湖のそばの村でした。ミルフォードという。

生越) 湖のそばという話ですが、こう何か、緑の木の多いような・・・、

ホーキンス) そうですね、あの、山がある。そして山の上から見るととってもきれいです。道にはあの木が植えてありますですね。とてもきれいにみえます。

生越) 日本においでになるというのは、ホーキンスさんのご希望だったのですか。

ホーキンス) あの、神様のために命を捧げたいと思っていましたから、外国伝道に行ったらどうですか、と言われました。そして日本に行くように頼まれましたから喜んで日本に来ました。

生越) その頃、ホーキンスさんは日本というのはある程度、ご存知だったのですか？

ホーキンス) 少しも知りませんでした。日本の方で一度もお目にかかったことがありませんでした。で、あの船の中で日本語を覚えました。1、2、3、4、5、6、7まで覚えました。

日本語も少しも知らなかった。

野際) ミス・ホーキンスは宣教師としての資格を得て外国伝道の目的で来日しました。初めて東洋の地をふみ、西洋とは全く異なった風俗や建物の中で1日の早く日本に親しみを持つようとして1人で日本家屋の密集する裏通りの路地を歩きました。そこでは幼い子どもたちが遊んでいました。日が当たらない路地はジメジメとしてドブ板の下から湧く水の匂いがあたりに漂っています。そんな地面にうずくまって土いじりをしている子どもたち。どこの裏通りに行ってもそうした姿が見受けられました。ミスホーキンスはこんな子どもたちに明るいのびのびを遊べる場所を与えたいと思いました。そこで宣教師としての仕事とともに、幼児を慈しむ神の教えのままに、豊橋市の小百合幼稚園の園長として赴任し、日本の子どものためにあたたかい手を差し伸べる第一歩としたのです。

M in ~ (赤い色なアに) (園児合唱)

赤い色なアに 大中寅二作曲

赤い色 なアに
りんごに いちご
金魚に 桜んぼ
夕やけこやけは
まっかな おそら

M ~ out

台本にあらかじめ書かれていたインタビューの内容 (坂東氏)

- ミス・ホーキンスをお知りになったのはいつですか。
- どんなふう日本語をお教えになったのですか。

生越) 坂東さんがホーキンス先生をご存知になるようになったのはいつ頃でございますか。

坂東) えっと大正10年だと思います。

生越) あー、そうですか。そうしますとホーキンスさんが日本に来られてまもなくの頃ですね。

坂東) 1年位東京で日本語の勉強をしておいでになって、それからすぐ豊橋においでになったわけだと思えます。

生越) 足掛け40年のお付き合いだそうですね。

坂東) そうです。ですからもうそうですね、自分のきょうだいよりもきょうだいのような気がいたします。

生越) その知り合ったのはどういうふうなことからなんでございますか？

坂東) そうでございますね。まあ私の女学校 (=筆者注: 豊橋市立高等女学校) にホーキンス先生の前の校長 (=筆者注: ポーマン) におなりになった方が英語を教えにおいでになってたんですね。で、その方のところに私が、また女学校を出てからも英語を習いに行っていました。

ね。で、ホーキンス先生が豊橋においでになった時にそのかたと一緒にお住みになったんだけど。

で、私に日本語を教えたかどうかとおっしゃったものですからね、日本語は日本語で教えるんだとおっしゃったから安心して、じゃあお教えいたしましょうって申し上げたんですよ。それからまああの日本語をお教えするのは、読本とか童話とか昔のなんたらの話とかね、そのようなものを暗誦なさったり対話をしたりするわけなんです。

M in ~ (いのり) ~ DN ~ BG

(柳城短大研究学生の合唱)

いのり 木岡栄三郎 作詞
C.W. Gluck

清けし 尊とし 天なる主
御かみわれらをあわれみ
みすくいを給えや
常世の御光 つきせぬ御恵み
まこといのちの もとなる我が神
まづしきがたま いのる心に
救いの御恵みを 豊かに給え
清けし 尊とし 父なる御かみよ
我等が捧げる いのりを聞き給えや

野際) そして4年経った4月 名古屋市に移って 柳城保姆養成所の教師になりました。子どもたちを健全に育てるためには、まづ、あたたかく包み育ててやる多くの手が必要だと考えたからです。

(台本には記載されていたが、放送ではカットされたものをいかに記す)

宗教の教えを通した生活の中で、智慧と体を健やかにはぐくみ社会の一人として成長していくのだとする希望を、子どもたちに持たせ、そうしたものの統一の中にこそ、人間の倅せが生まれるものだとする、ミス・ホーキンスの確かな深淵が、ゆるぎない足どりで進められ、着々と子供たちの設備は調えられていったのです。

M up ~ out

台本にあらかじめ書かれていたインタビューの内容 (松原氏)

- ミス・ホーキンスとは何年同じ仕事をしていらっしゃいましたか。
- ミス・ホーキンスのどんな面にひかれて？

生越) 松原さんは今、お仕事はどういう方面でございますか？

松原) 私、幼稚園、柳城幼稚園の主任でございます。

生越) ホーキンス先生とはどいいうふうなことでお知り合いになったのですか？

松原) やはり私もその柳城保姆養成所に入りました。

生越) いつ頃でございますか？

松原) 大正12年。その時いちばんはじめにホーキンス先生に教えていただいたのは体操でした。体操の先生でございました。

生越) 松原さんは、ホーキンス先生に怒られたというようなご経験はございませんか？

松原) ございます。はい、あのとてもお優しい先生ですけどね。私、あの、まあ若い時には笑い上戸だったんですよ。とってもよく笑いましたね。私どもは、朝、礼拝してるんですよ、礼拝で、讃美歌歌ってお祈りをして聖書を読むんですけど、その旧約聖書っていう中にね、面白い名前はよく出てくるんです、いろんな。それも隣同士で若い生徒ばかりでしょ、だからもう、そんな面白い名前がおかしくなりましたね。ククククククって笑うんです。そうしますとね、私どももおかしくおかしくて、たまらなくて止められないんです。そういう真面目な礼拝の時にね、笑ったことがありますので、ちょっとホーキンス先生に叱られたことがあります。

生越) 一度ホーキンス先生に教えていただいた方が、みなさん、先生のファンになってしまうそうですね。

松原) ええ、先生って方はやっぱり、神の人、神の人っていう感じですね。

M in ~

(小人の行進曲) 外国曲
編曲 酒田富治
(園児 器楽合奏)

M ~ 完奏

野際) 昭和12年、日支事変の勃発とともに社会の動きは軍部機関にのみ焦点を合わせて、保育施設は政府の補助も打ち切られた形となり、公共団体からも忘れ去られようとなりました。その頃からミス・ホーキンスやその他の(ママ)に冷たい視線が集まりました。けれどもミス・ホーキンスはそんな中でも明るい子ども達を育てようとする気持ちを捨てず、閉鎖しようとする長野県各地の幼稚園に赴いてその立ち直りに力を注いだのです。名古屋で保姆養成所の授業を行いつつ、当時すでに列車の不足でダイヤの狂いがちな混雑する汽車に乗って長野県へ行くのは並大抵の苦勞ではありませんでした。

M F1 ~ (聖歌 320 番) ~ DN ~ BG
(短大研究生合唱)

むかしより 世々のわがたすけよ
なほもゆくさきの わがのぞみよ

あめつちわかれぬ よのさきより
かわらぬかみこそ わがかみなれ

ももとせも 主のまえには
短かきひとよの 愛にひとし

あかつきの露の 消ゆるごとく
人はうせさりて あとだになし

あめつちうつれど とこしなえに
動かぬ御座こそ わがかくれが

野際) もうその頃、不穏な社会情勢は飛び火のように各国に移り、外国の宣教師のほとんどは本国へ引き揚げていました。けれどもミス・ホーキンスは帰ろうとしませんでした。そしてただひたすら平和を祈りました。

M up ~ out

野際) 昭和16年4月、ミス・ホーキンスは故国カナダへ引き上げを強制されました。まだ保育の仕事の半ばに日本を去る辛さは送還の日が迫るにつれて募り、幾晩も寝れなかったということです。

M in ~

(花も鳥も目がさめて)
(園児合唱)

花も鳥も目がさめて
作詞 佐藤初重
作曲 大中寅二

花も鳥も眼さめて
神さまありがとうございますと云ってます
わたしもいっしょに云いましょう
かみさま かみさま ありがとう

M up ~ out

野際) 本国カナダに帰るとすぐカナダにいる日本人の抑留集結地であるターシメに赴きました。抑留者達は戦争の不安に怯えています。幼い子どもたちは戦のなんであるかも知らず、ただ大人たちの不安な目に戸惑っています。そうした子供達のために、ミス・ホーキンスは幼稚園と中学校を教会の働きのもとに開いて教育の必要と精神の安らぎに努めたのです。抑留者たちは、ミス・ホーキンスを母のように慕いました。戦の相手国である日本人に広やかな愛を差し伸べてやまない人。もしも誰かが「どうしてそんなに親切になさるのですか」と尋ねたら、ミス・ホーキンスはきっこう答えたでしょう。「同じ地上に生きている同じ人々だからです」と。

台本にあらかじめ書かれていたインタビューの内容 (ホーキンス氏)

- 戦争が済んでからどうなさいましたか
- 再び日本でいらっしゃった時の感慨は?
- 日本へ来て、最初になさったお仕事はなんでしたでしょう。

生越) 戦後、ホーキンスさんが日本に再びいらっしゃったのはいつ頃でございますか。

ホーキンス) そうですね、1948年の1月に着きましたですね。

生越) 48年は昭和23年になりますかね。お戻りになったのはどんなお気持ちでございましたか。

ホーキンス) まあ、どこを見てもあの戦争のあとが見えましたからとっても悲しくなりましたですね。名古屋へ帰りますと、名古屋の4分の3でしたか？減ぼされたからとても悲しく思いました。

生越) その時は柳城短期大学はどういう具合だったんですか？やっぱり焼けてしまった？

ホーキンス) そうですね、すっかり焼けてしまった。蔵だけ残ってました。蔵だけ、まあ木が少し残ってました。
そして、学校のあとを見ると、幼稚園のあとをみると、ピアノの張り紙ぐらいが残ってましたことを見て、本当にがっかりしましたですね。

生越) まあ、これはまたずいぶん大変な国に帰ってきたなあという感じはしませんでしたか？

ホーキンス) いえ、そう。まあ大変とは感じましたけれども、とても感謝していました。古いお友だちに会ってですね、そして友だちは勇気をもってですね、元の働きを復興したいと思ったことは感謝しました。

生越) 何かの折に、そういった生活を続けていく上において、先生のモットーにされていることがあるんでございますか。なんて言いますかね、先生の生活を支えていく考えと申しましょうか、先生が人間はこうしなければならぬんだというふうに根本的に考えていらっしゃること。

ホーキンス) そうですね。私はもちろんクリスチャンでありますですね。そして毎日、あの、人に会わない前に神様と交際する時間がございますですね。毎日。そしてそれによって、その日は清い良いものでありますようにと思います。実は私は子どもたちには明るい家庭は何より大事なものであるから、あの、お母さん方やお父さん方は明るい家庭を作りたいことを望んでいますですね。

台本にあらかじめ書かれていたインタビューの内容 (松原氏) *しかし、放送内ではカットされていた。

○現在の保育施設はどうか。

○今後のあり方について (ミス・ホーキンスの信念のままに私たちは働いています。それは一番正しいことだと信じているから)

台本にあらかじめ書かれていたインタビューの内容 (坂東氏)

○ミス・ホーキンスに望むことは？

○ミス・ホーキンスの頬はつやつやとして若々しいが、その健康状態は？

生越) 拝見したところ、ホーキンス先生は血色もよろしいですし。

坂東) そうですね。お元気ですね。まあ、ほんとにご丈夫で、私なんか恥ずかしいぐらいです。朝

は早くおおきになって、お風呂じゃないんですけど、体をどんな冬でもお拭きになるとですね、あのシャワーでもって水。それに運動も良くなさいます。運動家です。もう水泳はお得意ですね。それから舟も上手。ボートどかカヌーとかね。

生越) あれですね、ホーキンス先生にはこれからもお元気で大いにこの日本の教育のために力を注いでいただけないといけませんね。

坂東) そう思います。

生越) これからもずっと一緒にお仕事をお続けになるかな。

坂東) 私もいい歳ですけど、いつまでもこの働きを続けたいと思っております。

M in ~

(たんぼぼ) (園児合唱)

たんぼぼ たんぼぼは
お日さまの こどもです

朝が来て 朝が来て
お日さまの 起こすまで

夕方に お話を閉じて
眠ります

M ~ out

野際) 戦後の保育環境は一段の飛躍をみたということです。しかし、ミス・ホーキンスはまだまだと首を振ります。子どもを幸福にしてやる大人の務めはどこまで手を尽くしても尽くしたりするというものではありません。それはちょうどこんこんと湧く泉のようにあふれて止まないものでなければ。それが、ミス・ホーキンスの心なのです。

M in ~ (なんでも食べる子) ~ DN ~ BG

(園児合唱)

何でも食べる子
作詞 葛葉国子
作曲 大中寅二

何でも食べる 丈夫な子
人じん だいこん ほうれん草
りんごも お肉も お魚も
ぼくは何でも 大好きだ
何でも食べる 丈夫な子
(繰返し)

野際) 何でも食べる丈夫な子を子どもたちと一緒に歌うミスホーキンスは、今年68歳とは思えない若々しい赤みがさした両頬に限りなく温かい微笑みを浮かべています。そして子供達の姿を追う穏やかな目は静けさと愛情に満ちています。

M up ~ out

野際) 山田万亀構成「あたゝかき愛の物語」。ただいまのお話、フランセス・ビー・ホーキンス、坂東きく、松原しも、合唱柳城女子短期大学音楽部と附属幼稚園の皆さんでした。聞き手生越アナウンサー、語り手野際陽子でございました。

おわりに

以上のように、同ラジオ番組の台本と音源を分析することにより、ホーキンスがいかに愛知県の幼児教育の振興に寄与していたかが明らかとなった。彼女の信仰心の強さと柳城保姆養成所の生徒に慕われる人格も読み取ることができた。今後は、この資料や未だ十分に検討されていない柳城学院の歴史資料室に眠る史料の内容精査を通じて、昭和初期における保育者養成機関の保育内容や生徒の力量形成に研究を進めていきたい。

謝辞

本稿執筆ために、資料確認や閲覧にあたり名古屋柳城女子大学准教授の片山伸子氏に多くのアドバイスをいただきました。この場をお借りして、お礼を申し上げます。

付記

本研究は科学研究費助成事業（基盤研究（C）21K02367、代表：青山佳代）の助成を受けたものである。

**Frances B. Hawkins, the Contributor to the Promotion of Early Childhood Education in Aichi Prefecture:
The Radio Program “A Tale of Warm Love, Atatakaki Ai no Monogatari” in Commemoration of the Aichi Prefectural Commendation of 1960.**

Aoyama, Kayo*

戦間期から戦後15年の約40年間にわたって、愛知県の幼児教育の振興に寄与したフランセス・B・ホーキンスは、(Frances Belle Hawkins, 1891-1978)は、カナダ聖公会婦人補助会から日本に派遣され、1924年には柳城保姆養成所の教員に、そして1928年には同附属幼稚園の園長となった。途中、戦争のために母国カナダへ引き揚げることを余儀なくされたが、戦後再来日した。幼児教育に尽力しながら、かつ保育者養成機関の経営にもその手腕を発揮させ、柳城保姆養成所を柳城女子短期大学保育科へと昇格させた。

1960年2月23日、彼女は愛知県表彰条例による第11回表彰者(教育功労者)となった。この表彰を記念して、1960年5月6日にNHKラジオ第1放送でホーキンスの生涯に関する特別番組は放送された。本稿では、この特別番組の台本と実際に放送された音源(オープンリール)のテープ起こししたものを記述し、ホーキンスの人となりについて紹介する。

キーワード：フランセス・B・ホーキンス, カナダ聖公会婦人補助会, 柳城保姆養成所, 愛知県表彰条例, NHK婦人学級, 保育者養成史, 愛知県における幼児教育の振興, 昭和初期の幼児教育

*Nagoya Ryujō Women's University